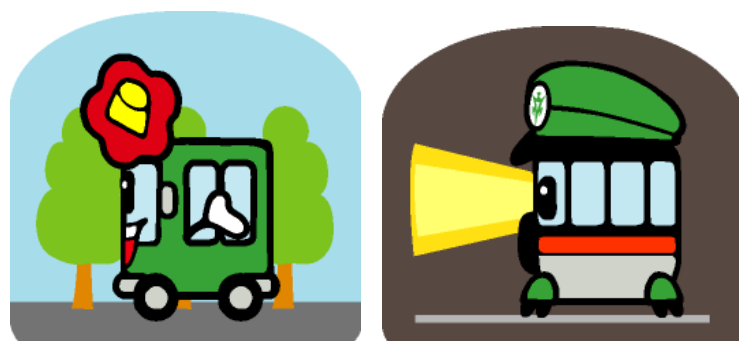


平成17年度

京都市交通事業事務事業評価の 実施結果について



平成18年3月
✳ 京都市交通局

【本書の構成とその内容】

9 観光客誘致施策との連携 …全市的な観光客誘致施策と連携し、さら ^① も観光客の誘致に寄与する。					
② 25. 観光客誘致施策との連携	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	年間参加会議体数	5 ^③ 会議体	5会議体	100%	⑤ 良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	年間入洛観光客数	4,3 ^④ 万人 (15年度実績値)	4,554万人	104%	
26. 「元離宮二条城築城400年祭」など市施設の周年事業との連携					
評価対象外事業					⑥

25. 観光客誘致施策との連携	
成果	達成 普通 悪い ^⑦
	未達成 普通 達成
	未達成 達成
	活動量

活動量の年間参加会議体数は、目標を達成している。成果の年間入洛観光客数も目標を達成して^⑧ことから、総合評価は「良い」とする。

26. 「元離宮二条城400年祭」など市施設の周年事業との連携
観光客誘致につながる市施設の周年事^⑨なかったため、平成16年度評価は実施していない。

【考察】

- 観光客誘致施策と連携については、各会議体に積極的に参画し、観光客の誘致行動を共同で推進しており、観光客誘致につながって^⑩。
- 京都市への観光客数自体は、交通局の参加会議体による誘致活動以外にも、京都市の観光客誘致施策や交通局の他の利用促進策などが相まって得られた成果であることに留意する必要がある。

【今後の方向性】

- 観光客誘致関連の会議に参加し、情報発信などを行うことにより、年間入洛観光客数の増加に向けて、積極的な取組を進めていく。^⑪
- 京都市の観光客誘致施策と連携することは、市バス・地下鉄のお客様の増加につながる可能性が高いことから、引き続き連携を図っていく。

項目の説明

① 「京都市交通事業アクションプログラム」の事業名と事業内容

② 事業を構成する個別の取組名

③ 活動量指標，活動量目標，活動量実績値，活動量達成度★

交通局が行う取組の進ちよく状況を客観的数値や記号等で表したものの

④ 成果指標，成果目標，成果実績値，成果達成度★

交通局の取組による成果を客観的数値や記号等で表したものの

⑤ 総合評価

活動量達成度と成果達成度を総合的に判断して算出した評価

⑥ 評価対象外の事業

計画上実施時期にきていない事業等や当該年度には評価対象となる事業がないもの

⑦ 達成度イメージ図

評価結果をわかりやすくイメージ図で示したものの

⑧ 評価の根拠

総合評価を行った根拠を示したものの

⑨ 検討状況

評価対象外の事業の現段階での検討状況等を表したものの

⑩ 考察

当該事務事業の評価結果を踏まえ，交通局としての考えを示したものの

⑪ 今後の方向性

平成17年度以降の取組の方向性，事務事業評価に係る改善点などについて交通局としての考えを示したものの

★ 達成度判断基準（3段階評価）

総合評価	活動量達成度	成果達成度
良い	100%以上	100%以上
普通	いずれかが100%以上	
悪い	いずれも100%未満	
	0%	100%以上

評価結果一覧表

・・・評価対象外

アクションプログラム		整理番号	取組項目	総合評価
事業番号	事業名			
1	路線・ダイヤの改善	1	系統の見直し	普通
		2	ダイヤの適正化	普通
2	市バスの走行環境改善による定時性の確保	3	京都府警察との連携	普通
		4	バス専用レーン確保のための全市的取組	普通
		5	走行環境改善のための市民PR	普通
		6	運行管理システムの活用	—
		7	「京都市違法駐車等防止条例」に基づく違法駐車等防止指導員による啓発活動	普通
		8	走行困難箇所の改善	良い
3	(1)乗機抵抗の軽減	9	磁気カード乗車券によるバス・バス、バス・地下鉄割引	良い
		10	通学定期(甲)の全線化	良い
		11	民間鉄道事業者との企画乗車券(共通フリーチケット等)の設定	良い
	(2)新規乗車券の検討	12	コンベンションバスの設定	普通
		13	環境定期券制度の平日への拡大検討	—
		14	エルダーチケットの創設検討	—
(3)ICカードの導入検討	15	ICカードの導入検討	—	
4	バス停留所の設置位置の改善	16	バス停留所の設置位置の改善	悪い
5	IT等の活用による情報提供	17	「ポケット・バスロケ」の機能アップ	良い
		18	交通局ホームページの充実	良い
6	案内表示の改善	19	案内表示の改善	良い
7	バスロケーションシステムの増設	20	バスロケーションシステムの増設	普通
8	イベントの開催・参加	21	アートパフォーマンスin山科駅の開催	普通
		22	「ふれあい区民広場」への参加	良い
		23	「スルッとKANSAIバスまつり」への参加	普通
		24	市の事業とのタイアップ	普通
9	観光客誘致施策との連携	25	観光客誘致施策との連携	良い
		26	「元離宮二条城築城400年祭」など市施設の周年事業との連携	—
10	地下鉄構内の有効利用	27	四条駅「ミニ・コンビニ」収益増の取組	良い
		28	「ミニ・コンビニ」や他の業態による事業展開	良い
11	オリジナルグッズの企画・販売	29	オリジナルグッズの企画・販売	良い
12	広告制度のあり方の検討 ※1	30	広告制度のあり方の検討	普通
13	「管理の受委託」の拡大	31	「管理の受委託」の拡大	良い
		32	積大路営業所の受委託	良い
14	総人件費の抑制 ※2	33	総人件費の抑制	良い
15	経費の削減 ※3	34	経費の削減	良い
16	定期観光バス事業の見直し	35	定期観光バス事業の見直し	—
		36	観光振興の観点からの交通事業としての取組強化策の検討	良い
17	「生活交通」(生活支援路線)の確保方策	37	「生活交通」を確保するための新たな仕組みづくりの取組	—
		38	「生活交通」に対する一般会計支援	良い
18	地下鉄事業の長期収支改善	39	地下鉄事業の長期収支改善	良い
		40	東西線線路使用料の見直し	良い
19	(1)職員研修の充実 ※4	41	全員研修の実施	普通
		42	実務研修の充実(バス)	良い
		43	実務研修の充実(地下鉄)	良い
		44	基本研修等の充実	普通
		45	能力開発研修の拡充と自主研修の支援	普通
	(2)「目標管理制度」の実施	46	「目標管理制度」の実施	普通
20	情報公開と市民理解の推進	47	「京都市交通事業アクションプログラム」の策定及び進行管理	良い
		48	「京都市交通事業事務事業評価」の実施	—

21	市民とのパートナーシップの推進	49	市民モニター制度の実施	良い	
		50	「お客様総合相談窓口」（仮称）の開設	—	
		51	「お客様満足度調査」の実施	良い	
		52	関係NPO組織との懇談	良い	
22	TDM施策の推進	53	「嵐山交通対策研究会」における取組への参加	普通	
		54	「「歩くまち・京都」交通まちづくりプラン」に基づく取組との連携	普通	
23	公共交通の社会基盤整備	55	道路整備・各種都市計画事業との連携	良い	
		56	公共施設等の整備との連携	良い	
24	バリアフリー化の推進 ※5	(1)市バスのバリアフリー化	57	ノンステップバスの導入	良い
			58	停留所施設の改善	普通
		(2)地下鉄のバリアフリー化	59	地下鉄のバリアフリー化	良い
25	市バス車両の低公害化 ※6	60	低公害車・低燃費車の導入	良い	
		61	黒煙等減少装置の導入	良い	
		62	低公害燃料の使用	良い	
26	地下鉄の安全対策 ※7	63	「京都市高速鉄道防火安全対策委員会」の設置	良い	
		64	車両間転落防止装置の設置（烏丸線）	良い	
27	地下鉄東西線の延伸	65	地下鉄東西線（六地藏～龍淵間）の延伸	良い	
		66	地下鉄東西線（二条～天神川間）の延伸	良い	

〔昨年度の事務事業評価との変更点〕

※1 「広告制度のあり方の検討」については、成果指標が共通している2項目を一括で評価している。

※2 「総人件費の抑制」については、成果指標が共通している7項目を一括で評価している。

※3 「経費の削減」については、成果指標が共通している2項目を一括で評価している。

※4 「職員研修の充実」の「優秀職員モニター制度の新設」（昨年度は検討事業）については、検討終了後「実務研修の充実」に組み込んでいる。

※5 「地下鉄のバリアフリー化」はハード整備のため、数年で完了する取組が多く、個別・継続的に評価を行うことが難しいため、一括で評価している。

※6 「市バス車両の低公害化」については、成果指標が共通する「低公害車の導入」「低燃費車の導入」の2項目を一括で評価している。

※7 「地下鉄の安全対策」については、平成15年度以前に終了している2事業（韓国の地下鉄火災を受けた緊急取組（平成14年度終了）、非常停車通報ボタンの設置（平成15年度終了））については、取組項目から削除している。

1 路線・ダイヤの改善

…市バス系統及びダイヤについて、利便性の向上及び効率化の観点から市バス系統の見直しを行い、お客様の利用促進を図る。

1. 系統の見直し	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	運転計画の実施	運転計画実施後の利用状況調査・検証	実施	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	市バスの旅客数（一日あたり）	320,833人/日（15年度実績値）	315,042人/日	98%	
2. ダイヤの適正化	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	運転計画の実施	56系統	56系統（往路基本）	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	延着時分	30%削減（14年度比較）	25%削減（総延着＝217時間）	83%	

1. 系統の見直し

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は運転計画実施後の利用状況調査・検証がなされ、目標を達成している。しかし、成果の市バスの旅客者数は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

2. ダイヤの適正化

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は運転計画の実施（系統のパターン化）がなされ、目標を達成している。しかし、成果の延着時分の削減は、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

【考 察】

- 延着時分を平成14年度比較で30%削減することは、モータリゼーションの進展等により道路事情が悪化するなかでは非常に高い目標であり、実績である25%の延着時分の削減は十分に評価できる。
- 両取組とも成果である市バスの旅客数や延着時分に大きな影響を与えるものであるが、実際には違法駐停車等による走行環境の悪化など、本取組以外の多くの要素から影響を受けることに留意する必要がある。

【今後の方向性】

- 現在の取組を継続するとともに、活動量と成果との関係を分析し、より効果的な活動内容を検討していく。

2 市バスの走行環境改善による定時性の確保

…市バスの走行環境を改善し、定時性の確保に努める。

3. 京都府警察との連携	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	京都府警察本部及び全所轄警察署への要望活動	各1回	各1回	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	延着時分	30%削減 (14年度比較)	25%削減 (総延着=217時間)	83%	
4. バス専用レーン確保のための全市的取組	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	重点モデル事業の実施回数	1回	1回 (平成17年2月27日)	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	延着時分	30%削減 (14年度比較)	25%削減 (総延着=217時間)	83%	
5. 走行環境改善のための市民PR	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	お客様へのご案内と特別警戒の実施回数	2回	春・秋2回 (合計7日間)	100%	普通
	活動量指標2	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
	停留所周辺での啓発活動の実施回数	50回	50回 (毎週金曜日)	100%	
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	延着時分	30%削減 (14年度比較)	25%削減 (総延着=217時間)	83%	
6. 運行管理システムの活用	評価対象外のため、今年度評価はなし。				
7. 「京都市違法駐車等防止条例」に基づく違法駐車等防止指導員による啓発活動	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	違法駐車等防止指導員数	2,056人 (計画値)	2,056人	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	延着時分	30%削減 (14年度比較)	25%削減	83%	
8. 走行困難箇所の改善	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	関係部局への要望回数	1回	1回	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	走行困難箇所の改善箇所数	1箇所	1箇所 (加茂街道)	100%	

3. 京都府警察との連携

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は京都府警察本部及び全所轄警察署への要望活動がなされ、目標を達成している。しかし、成果の延着時分の削減は、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

4. バス専用レーン確保のための全市的取組

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は重点モデル事業の実施がなされ、目標を達成している。しかし、成果の延着時分の削減は、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

5. 走行環境改善のための市民PR

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量はお客様へのご案内と特別警戒が実施され、また、停留所周辺での啓発活動も実施され、目標を達成している。しかし、成果の延着時分の削減は、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

6. 運行管理システムの活用

計画では、平成17年度にすべての設備の更新が終了した後に評価することとしているため、平成16年度評価は実施していない。

7. 「京都市違法駐車等防止条例」に基づく違法駐車等防止指導員による啓発活動

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は違法駐車等防止指導員数が確保され、目標を達成している。しかし、成果の延着時分の削減は、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

8. 走行困難箇所の改善

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は関係部局への要望がなされ、目標を達成している。成果の走行困難箇所の改善箇所数も目標を達成したことから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- 延着時分を平成14年度比較で30%削減することは、モータリゼーションの進展等により道路事情が悪化するなかでは非常に高い目標であり、実績である25%の延着時分の削減は十分に評価できる。
- 各取組とも、計画どおりの活動が行われている。走行困難箇所の改善以外の取組では延着時分の削減という同一の成果指標を用いており、活動と成果の関係は必ずしも密接でないが、個別の活動を着実に取り組むことにより、改善の可能性は高くなるものと考えられる。

【今後の方向性】

- 延着時分の削減に向けて、引き続き、活動を充実していく。
- 活動量と成果との関係を踏まえ、成果目標の設定の水準なども検討しながら、成果の達成に向けて取り組む。

3 運賃制度の改善

…乗継抵抗の軽減及び新規乗車券の検討により、お客様の利便性を向上させ、利用促進につなげる。

(1) 乗継抵抗の軽減

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
9. 磁気カード乗車券によるバス・バス、バス・地下鉄割引	乗継割引制度利用者の拡大のための活動	PRの充実	チラシ等の配布 (案内所等で約2万部配布)	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	乗継割引適用者数 (普通券を含む)	2,684人/日 (15年度実績値)	8,043人/日	300%	
10. 通学定期(甲)の全線化	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	制度の創設及びPRの推進	PRの充実	チラシ等の配布 (4月に約20大学で実施等)	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	通学定期券(甲)の発売枚数	26,336枚 (15年度実績値)	28,135枚	107%	

(2) 新規乗車券の検討

11. 民間鉄道事業者との企画乗車券(共通フリーチケット等)の設定	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	企画乗車券の発売枚数	319,941枚 (15年度実績値)	389,999枚	122%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	企画乗車券の旅客収入	147,749千円 (15年度実績値)	151,148千円	102%	
12. コンベンションパスの設定	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	コンベンションパスの周知・PR	京都コンベンションビューローのホームページでの実施	京都コンベンションビューローのホームページでの実施	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	コンベンションパスを利用していただくコンベンション(会議)の数	6件	4件	67%	
13. 環境定期券制度の平日への拡大検討	評価対象外のため、今年度評価はなし。				
14. エルターチケットの創設検討	評価対象外のため、今年度評価はなし。				

(3) ICカードの導入検討

15. ICカードの導入検討	評価対象外のため、今年度評価はなし。				
----------------	--------------------	--	--	--	--

9. 磁気カード乗車券によるバス・バス、バス・地下鉄割引

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は乗継割引制度利用者の拡大のための周知活動がなされ、目標を達成している。成果の乗継割引適用者数も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

10. 通学定期（甲）の全線化

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は大学生等を対象とする市バス通学定期券（甲）の全線化のPRが充実され、目標を達成している。成果の市バス通学定期券の発売枚数も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

11. 民間鉄道事業者との企画乗車券（共通フリーチケット等）の設定

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は企画乗車券の発売枚数の増加がなされ、目標を達成している。成果の企画乗車券の旅客収入も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

12. コンベンションパスの設定

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量はコンベンションパスの周知・PRが昨年度の交通局ホームページに続きコンベンションビューローのホームページ上でなされ、目標を達成している。しかし、成果のコンベンションパスを利用していただくコンベンションの数は、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

13. 環境定期券制度の平日への拡大検討

制度内容の検討段階のため、平成16年度評価は実施していない。

定期券制度全体との整合性を考慮し、従来の枠組みにとらわれない、より実現性の高い制度内容を検討していく。

14. エルダーチケットの創設検討

制度内容の検討段階のため、平成16年度評価は実施していない。

敬老乗車制度の有料化の方向性を注視しつつ、より実現性の高い制度内容を検討していく。

15. ICカードの導入検討

制度内容の検討段階のため、平成16年度評価は実施していない。

平成19年春の地下鉄での実施に向けて、進ちょく状況を管理していく。

【考 察】

- 各取組において、計画どおりの取組がなされている。運賃制度の改善に関する本取組は、お客様の利便性向上に大いに寄与し、旅客数の増加によって交通局の収益性の向上にもつながる、非常に効果的な取組である。

【今後の方向性】

- 各取組とも、引き続きPR活動を継続していくことで取組内容を周知していく。
- 新規乗車券の検討については、制度全体の枠組みを十分に検討する中で、お客様のニーズに合致しているか否か、収益が向上するか否かを踏まえて、発売していく。

4 バス停留所の設置位置の改善

…バスと地下鉄との乗継をよりご利用いただきやすくするため、地下鉄駅と結節しているバス停留所等の設置位置を改善する。

16. バス停留所の設置位置の改善	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	設置位置を改善したバス停留所箇所数	3箇所	0箇所	0%	悪い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	乗継割引適用者数 (普通券を含む)	(2,684人/日) (15年度実績値)	(8,043人/日)	(300%)	

16. バス停留所の設置位置の改善

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は、目標は設置位置を改善するバス停が3箇所であったが、1箇所も改善できなかった。成果達成度は100%を超えているが、活動量達成度0%のため、総合評価は「悪い」とする。

【考察】

- バス停留所の設置位置の改善は結果的に1箇所も行わなかったが、成果目標は300%の達成となっている。これは、平成16年度について、磁気カード乗車券によるバス・バス、バス・地下鉄割引の実施や案内表示の改善など、他の取組を行ったことにより達成されたものである。
- バス停留所の移設については地元住民の同意を得ることが必要だが、バス走行に対する苦情や、乗客マナーの低下により、同意を得ることが難しくなっていることも事実である。

【今後の方向性】

- バス停設置位置の変更は、地元住民の同意を得ることが必要であるなど容易ではないが、より実現性の高い活動への見直しも検討しながら、引き続き取組を行う。

5 IT等の活用による情報提供

…市営交通に関する情報をより入手しやすくすることにより、お客様の利便性向上を図る。

17. 「ポケット・バスロケ」の機能アップ	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	「市バス接近表示器」の設置数	1基	1基 (地下鉄今出川駅構内)	100%	良い
成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度		
「ポケット・バスロケ」へのアクセス数	25, 117件/日 (15年度実績値)	31, 537件/日	126%		
18. 交通局ホームページの充実	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	新規作成ページ数	50ページ	53ページ	106%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	トップページへのアクセス数	6, 176件/日	6, 319件/日	102%	

17. 「ポケット・バスロケ」の機能アップ

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は「市バス接近表示器」の設置がなされ、目標を達成している。成果の「ポケット・バスロケ」へのアクセス数も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

18. 交通局ホームページの充実

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の新規作成ページ数は、目標を達成している。成果のトップページへのアクセス数も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- 「ポケット・バスロケ」を機能アップさせた「市バス接近表示器」を設置することにより、地下においても市バスの接近情報を入手できるようになることから、地下鉄から市バスへ乗り継がれるお客様の利便性向上が図られている。
- ホームページに常に新たな情報が提供されることは、アクセス数の増加に大きな影響を与えると考えられるため、活動量と成果は密接な関係にある。本取組はお客様の市バス・地下鉄への関心を喚起し、有益な情報を提供することによりお客様の利便性向上と利用促進に大いに貢献するものである。

【今後の方向性】

- 今後も、質・量ともに充実した魅力あるホームページ作りを通じて、市バス・地下鉄の取組を周知し、お客様の理解を深めるよう努める。
- 「ポケット・バスロケ」を幅広く活用していくため、増加するアクセスに対応できるサーバへの強化を図るなど、機能を強化していく必要がある。

6 案内表示の改善

…案内表示を改善し、利用しやすい案内情報や乗継情報などをお客様に提供する。

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
19. 案内表示の改善	案内表示の改善箇所数	5箇所 (バスターミナル2箇所 地下鉄駅3箇所)	5箇所 (バスターミナル0箇所 地下鉄駅5箇所)	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	乗継割引適用者数 (普通券を含む)	2,684人/日 (15年度実績値)	8,043人/日	300%	

19. 案内表示の改善

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の案内表示の改善箇所数は、改善箇所が予定していた場所とは異なったものの、目標を達成している。成果の乗継割引適用者数についても目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- 観光客をはじめ、京都に馴染みのない方にとって、駅などにおける案内表示は極めて重要であり、お客様の利便性向上に大きく寄与するとともに、利用促進につながるものである。

【今後の方向性】

- 引き続き、市バスの各ターミナルや、主要バス停留所の標識柱に設置する案内表示を改善するとともに、地下鉄駅の乗継案内などの取組も充実していく。

7 バスロケーションシステムの増設

…バスロケーションシステムの設置を推進することにより、お客様の利便性を向上させるとともに旅客数の増加を図る。

20. バスロケーションシステムの増設	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	バスロケーションシステムを設置したバス停留所箇所数	8箇所	8箇所	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
市バスの旅客数（一日あたり）	320,833人/日 （15年度実績値）	315,042人/日	98%		

20. バスロケーションシステムの増設

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量のバスロケーションシステムを設置したバス停留所箇所数は、目標を達成している。しかし、成果の一日あたり市バスの旅客数は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

【考察】

- バスロケーションシステムの増設は、お客様にバスの接近情報をリアルタイムでお知らせすることを可能とするものであることから、お客様の利便性向上及び利用促進につながるものである。
- 成果の「市バスの旅客数（一日あたり）」は、バスロケーションシステムの増設だけによって達成できるものではなく、京都市の観光客誘致施策や交通局の他の利用促進策などが相まって得られた成果であることに留意する必要がある。

【今後の方向性】

- より多くのお客様にご利用いただけるよう、今後ともバス停留所へのバスロケーションシステムの設置を進める。

8 イベントの開催・参加

…イベントの開催・参加を通じて、親しみやすい市営交通をPRし、旅客誘致を図る。

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
21. アートパフォーマンスin山科駅の開催	開催回数	12回	12回	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	開催日と非開催日の山科駅乗降客数	100% (開催日が非開催日を上回ること)	開催日: 26,659人 非開催日: 28,008人	95%	
22. 「ふれあい区民広場」への参加	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	年間参加回数	年間2回参加	年間4回参加	200%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
交通局ブースへの来場者数	200名以上	200名以上	100%		
23. 「スルッとKANSAIバスまつり」への参加	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	「スルッとKANSAIバスまつり」への参加	毎年1回参加	1回	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
「スルッとKANSAIバスまつり」の来場者数	2万3千人 (15年度実績値)	2万2千人	96%		
24. 市の事業とのタイアップ	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	タイアップ事業数	2事業	2事業	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	花灯路事業の来場者数	1,069千人 (15年度実績値)	1,055千人	99%	

21. アートパフォーマンスin山科駅の開催

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量のアートパフォーマンスin山科駅の開催回数は、目標を達成している。しかし、成果の開催日（毎月第2土曜日）における山科駅乗降客数は、非開催日（その他の土曜日）の平均乗客数をわずかながら下回り目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

2.2. 「ふれあい区民広場」への参加

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の「ふれあい区民広場」への参加は、目標を達成している。成果の交通局ブースへの来場者数も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

2.3. 「スルッとKANSAIバスまつり」への参加

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の「スルッとKANSAIバスまつり」への参加は、目標を達成している。しかし、成果の「スルッとKANSAIバスまつり」の来場者数は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

2.4. 市の事業とのタイアップ

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量のタイアップ事業数は、NHK大河ドラマ関連のPR事業、花灯路事業の2事業であり、目標を達成している。しかし、成果の花灯路事業の来場者数は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

【考察】

- 各種イベントへの参加は、お客様に直接市バス・地下鉄をPRできる絶好の機会であり、利用者の増加につながるものである。
- イベントに関する成果指標の設定については、概算値や特定事業の数値など、必ずしも客観的な数字に基づくものではないことに留意する必要がある。

【今後の方向性】

- 更なるお客様の増加につなげるため、市が行う各種イベントに引き続き参加するとともに、その内容の充実にも寄与していく。

9 観光客誘致施策との連携

…全市的な観光客誘致施策と連携し、さらなる観光客の誘致に寄与する。

25. 観光客誘致施策との連携	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	年間参加会議体数	5会議体	5会議体	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	年間入洛観光客数	4,374万人 (15年度実績値)	4,554万人	104%	
26. 「元離宮二条城築城400年祭」など市施設の周年事業との連携	評価対象外事業				

25. 観光客誘致施策との連携

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
	未達成	達成	
	活動量		

活動量の年間参加会議体数は、目標を達成している。成果の年間入洛観光客数も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

26. 「元離宮二条城400年祭」など市施設の周年事業との連携

観光客誘致につながる市施設の周年事業がなかったため、平成16年度評価は実施していない。

【考察】

- 観光客誘致施策と連携については、各会議体に積極的に参画し、観光客の誘致行動を共同で推進しており、観光客誘致につながっている。
- 京都市への観光客数自体は、交通局の参加会議体による誘致活動以外にも、京都市の観光客誘致施策や交通局の他の利用促進策などが相まって得られた成果であることに留意する必要がある。

【今後の方向性】

- 観光客誘致関連の会議に参加し、情報発信などを行うことにより、年間入洛観光客数の増加に向けて、積極的な取組を進めていく。
- 京都市の観光客誘致施策と連携することは、市バス・地下鉄のお客様の増加につながる可能性が高いことから、引き続き連携を図っていく。

10 地下鉄構内の有効利用

…既存の地下鉄駅施設・構内空間を利用して新たな事業を展開することにより、地下鉄利用のお客様への利便性向上に努めるとともに、増収を図る。

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
27. 四条駅「ミニ・コンビニ」収益増の取組	経営状況のチェック、売上増取組の実施（取扱い品目の見直し等）	月1回の売上チェックの実施、ニーズの高い商品への入れ替え	売上チェック、ニーズの高い商品への入れ替え実施	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	四条駅「ミニ・コンビニ」からの営業料収入	430万円（年次計画値）	487万円	113%	
28. 「ミニ・コンビニ」や他の業態による事業展開	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	店舗等による事業展開	1店舗出店	京都駅「フレッシュジューススタンド」開店	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
四条駅「ミニ・コンビニ」以外の店舗からの営業料収入	430万円（四条駅「ミニ・コンビニ」並）	791万円	184%		

27. 四条駅「ミニ・コンビニ」収益増の取組

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の「経営状況のチェック、売上増取組の実施（取扱い品目の見直し等）」は、目標を達成している。成果の四条駅「ミニ・コンビニ」からの営業料収入も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

28. 「ミニ・コンビニ」や他の業態による事業展開

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の店舗等による事業展開は、目標を達成している。成果の四条駅「ミニ・コンビニ」以外の店舗からの営業料収入も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考察】

- 「ミニ・コンビニ」については毎年着実に営業料収入を伸ばしている。加えて、新たに京都駅に「フレッシュジューススタンド」を出店したことにより、営業料収入は目標を大きく上回っている。これらは、交通局の収入増のみならず、お客様の利便性向上につながっている。

【今後の方向性】

- 今後とも、集客力のある駅を中心に、店舗展開等を図っていく必要がある。

11 オリジナルグッズの企画・販売

…オリジナルグッズの企画・販売を通じて親しみやすい市営交通をPRし、旅客誘致を図る。

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
29. オリジナルグッズの企画・販売	発売したオリジナルグッズの種類	2種類	3種類	150%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	オリジナルグッズ年度内販売率	100%	100%	100%	

29. オリジナルグッズの企画・販売

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の発売したオリジナルグッズの種類は、目標を達成している。成果のオリジナルグッズ年度内販売率も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- オリジナルグッズの企画・販売は、市バス・地下鉄のイメージ戦略になると同時に、売上による直接的な収入を伴うことから、お客様の増加及び交通局の収入増につながるものである。

【今後の方向性】

- 市バス・地下鉄のイメージアップと収益向上を両立させるべく、マーケティングの精度を高め、引き続き、需要に見合った適切なグッズの作成と販売に取り組む。

12 広告制度のあり方の検討

…市バス・地下鉄の広告料収入の減少傾向に歯止めをかけ、さらなる増収を図る。

30. 広告制度のあり方の検討	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	電照式看板枠の空枠対策	検討会2回 実態調査1回	検討会2回 実態調査1回	100%	普通
	活動量指標2	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
	ラッピングバスの導入台数	45台	42台	93%	
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	市バス・地下鉄の広告料収入の増加	922百万円 (計画値)	967百万円	105%	

30. 広告制度のあり方の検討

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の電照式看板枠の空枠対策は目標を達成しているが、ラッピングバスの導入台数は、わずかながら目標に達しなかった。成果の市バス・地下鉄の広告料収入の増加は目標を達成していることから、総合評価は「普通」とする。

【考 察】

- 広告料収入を増加させることは、交通局の収入増に直結するものである。特に電照式看板の空枠対策については、「複数一括契約割引キャンペーン」を平成17年4月1日から実施することとしており、大きな前進がなされたといえる。
- 広告料収入については、電照式看板の空枠対策やラッピングバスの導入に加え、市バス車内広告や地下鉄車内の中吊り広告など、収入の基礎となる他の広告媒体からの影響が大きいことにも留意する必要がある。

【今後の方向性】

- 電照式看板の「複数一括契約割引キャンペーン」を積極的に活用し、空枠を減少させることで広告料収入の増加に結びつけていく。
- ラッピングバスについては、新規広告媒体として増収効果が高いものであるが、その実施にあたっては、京都の美観を損ねることがないように、京都市美観風致審議会へ諮りながら、条例上での限度である「所有バス台数の1割程度」を目指す。
- より多くの方に市バス・地下鉄の広告を利用していただくため、交通局ホームページでの案内を充実するなど、広告の販路拡大に向けた取組を行っていく。

13 「管理の受委託」の拡大

…市バスの運行について、京都市が路線・運賃等の決定に責任を負う公営としての長所を活かしながら、民営並みの低コストでの運営を行い、事業の効率化を図る。

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
31. 「管理の受委託」の拡大	バス運行業務の委託	九条営業所の一部	九条営業所の一部	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	委託系統の使用車両数	49両	57両	116%	
	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
32. 横大路営業所の受委託	当初契約期間満了に伴う新規契約の検討	受託者の公募	受託者を公募、審議	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	新規契約についての結論	受託者の決定	受託者を決定	100%	

3 1. 「管理の受委託」の拡大

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量については、九条営業所の一部を委託することとしており、目標を達成している。成果である委託車両数についても、目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

3 2. 横大路営業所の受委託

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量については、受託者を公募し、審議することとしており、目標を達成している。その結果、成果である新規契約の受託者についても、目標どおり受託者決定に至ったことから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- 管理の受委託については、横大路営業所において、平成12年3月に公営バス事業者として初めて管理の受委託を実施した後、平成16年3月に洛西営業所、平成17年3月には九条営業所の一部を委託しており、着実に委託規模を拡大している。
- 委託による経費削減効果は、横大路営業所と洛西営業所を合わせて1,429百万円と非常に大きく、交通局全体の健全化につながるものである。
- 横大路営業所の受託者については、「管理の受委託の受託者選定委員会」の審議を踏まえて選定した結果、当初契約の受託者を改めて選定することとなったが、この見直しにより委託料は約1億円減額しており、受託者を決定するという当初の目標も達成できていることから、平成16年度で取組を終了する。

【今後の方向性】

- 交通局として、路線、ダイヤ、運賃等の決定に責任を持ちつつ、経費の削減を推進していくためには、管理の受委託が最善の方策と考えており、引き続き、事業規模（所有バスの台数）の2分の1の範囲内での委託拡大に向けて、一層取組を推進していく。
- 委託完了までに要する期間についても、平成20年度までに委託を完了する年次計画を1年早め、平成19年度までに梅津営業所、西賀茂営業所のそれぞれ一部を委託し、一層の効率化を図っていく。

14 総人件費の抑制

…総人件費を抑制することで経営健全化を図り、交通事業者として市民の足を守る。

33. 総人件費の抑制	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価	
	給与等の3%以上の減額	管理職一人あたり 年30万円 (総額0.4億円)	30万円 (総額0.4億円)	100%		良い
	活動量指標2	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度		
	特殊勤務手当の廃止を中心とした見直し	年一人あたり 14万円 (総額2.2億円)	14万円 (総額2.0億円)	100%		
	活動量指標3	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度		
	休日勤務手当の解消	年一人あたり 14万円 (総額2.1億円)	15万円 (総額2.2億円)	107%		
	活動量指標4	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度		
	超過勤務手当の縮減	年一人あたり 20万円 (総額3.1億円)	21万円 (総額3.3億円)	105%		
	活動量指標5	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度		
	企業職給料表第5適用者の初任給引下げ	0.5億円	0.9億円	180%		
	活動量指標6	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度		
	非常勤嘱託員の報酬月額引下げ	0.8億円	1.1億円	138%		
	活動量指標7	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度		
	職員数の削減	5.8億円	7.8億円	134%		
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度		
	総人件費の縮減割合 (対14年度比, %)	対14年度比83%	164億円 (対14年度比83%)	100%		

33. 総人件費の抑制

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の7つの指標は、すべて目標を達成している。成果の総人件費の縮減割合も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- 職員数の削減をはじめ、各取組とも計画どおりに活動が行われ、成果目標どおりに人件費を削減することができていることから、交通局全体の経営健全化に大いにつながっている。

【今後の方向性】

- 引き続き、事業再生計画である「京都市交通事業ルネッサンスプラン」や、その年次行動計画である「京都市交通事業アクションプログラム」で示された人件費削減策を推進していくことで、収支の均衡の取れた経営を実現していく。

15 経費の削減

…市バス・地下鉄事業において、最小の経費で最良のサービスを提供すべく、経費削減の取組強化に努める。

34. 経費の削減	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	経費の削減額	302百万円 (年次計画値)	674百万円 (バス198百万円 地下鉄476百万円)	223%	良い
	活動量指標2	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
	経理システムの再構築による執行管理の効率化	システムの再構築	システムの再構築	100%	
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	平成14年度予算に対する削減率	対14年度予算比 4%削減	7%削減	175%	

34. 経費の削減

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の経費の削減額と、経理システムの再構築による執行管理の効率化については、目標を達成している。成果の平成14年度予算に対する削減率も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考察】

- 目標を上回る大幅な経費削減を達成しており、交通局の財政健全化に大いにつながるものである。

【今後の方向性】

- 今後も積極的に経費削減に努め、交通局全体の経営健全化を推進していく。
- 経理システムについては、開発スケジュールに合わせたシステム開発やテストなどを行っており、正式稼働に向け着実に取組を進めていく。

16 定期観光バス事業の見直し

…観光客のニーズにあった定期観光バス事業の運営方法を検討するとともに、観光振興の取組強化策を検討する。

35. 定期観光バス事業の見直し	評価対象外のため、今年度は評価なし。				
36. 観光振興の観点からの交通事業としての取組強化策の検討	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	「洛バス」の導入	「洛バス」の導入	運行開始 (平成17年1月19日)	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	「洛バス」の旅客数 (一日あたり)	—	—	—	

35. 定期観光バス事業の見直し

見直し内容を検討している段階であるため、平成16年度評価は実施していない。
観光客の誘致施策との連携を図りながら、引き続き利用促進策について検討を行っていく。

36. 観光振興の観点からの交通事業としての取組強化策の検討

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の「洛バス」の導入については、目標を達成している。成果の「洛バス」の旅客数については、導入間もない状況であり、まだ評価を出せない段階であるため、総合評価は暫定的に「良い」とする。

【考 察】

- 「洛バス」については、従来の市バス観光路線（100号・101号・102号の3路線）を「外国人向け観光推奨バス路線」として位置付け、路線ごとにイメージカラーを用いるなど、市内観光名所を巡るバスであることが分かるよう工夫していることから、外国人をはじめとする観光客の利便性向上につながっている。

【今後の方向性】

- 京都市が掲げる「5,000万人観光都市・京都」の実現に向け、「洛バス」や定期観光バスの効果的な運営方法を検討していく。

17 「生活交通」(生活支援路線)の確保方策

…市バス系統において、運営コストを民営並みに縮減したとしても、収支が赤字となる系統である「生活交通」(生活支援路線)について、市民生活の一定の水準を保障するため、「規制緩和」の実施に対応した系統の維持を図る。

37. 「生活交通」を確保するための新たな仕組みづくりの取組	評価対象外のため、今年度は評価なし。				
38. 「生活交通」に対する一般会計支援	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	一般会計からの財政支援を確保するための理財局への要求活動	要求活動の実施	予算化に向けた要求活動の実施	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	民営並コストでも赤字となる系統に対する財政補填率	補填率100%	100% (1,054百万円)	100%	

37. 「生活交通」を確保するための新たな仕組みづくりの取組

検討段階であるため、平成16年度評価は実施していない。

市長の諮問機関である「京都のバス事業を考える会」の答申を踏まえて、進ちょく状況を管理していく。

38. 「生活交通」に対する一般会計支援

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の一般会計からの財政支援を確保するための理財局への要求活動は、目標を達成している。成果の民営並コストでも赤字となる系統に対する財政補填率も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考察】

- 一般会計から引き続き支援を得られたことは、生活支援路線の確保に向けて非常に有効な取組であったといえる。
- 生活支援路線を維持するための新たな仕組みを構築することは、全国のバス事業者にとって極めて重要な課題であり、交通局をあげて取り組む必要がある。

【今後の方向性】

- 市の一般会計に対し、生活支援路線に対する財政支援を継続して要望していく。
- 生活支援路線を確保するための新たな仕組みづくりについては、「京都のバス事業を考える会」からの答申等を踏まえ、小型バス・ジャンボタクシー・代替モデル実証実験を実施するなど、より効率的・効果的に確保していく方策について検討を進めていく。

18 地下鉄事業の長期収支改善

…地下鉄事業の不良債務について、東西線延伸後概ね47年以内に解消することを目指し、長期収支の改善に努める。

39. 地下鉄事業の長期収支改善	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	地下鉄事業経営健全化計画に基づく一般会計出資額	5,725百万円(計画値)	5,725百万円	100%	良い
成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度		
経常損益における収支率	54.0%	54.5%	101%		
40. 東西線線路使用料の見直し	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	東西線(御陵～三条京阪)線路使用料の削減額	11億円(計画値)	11億円	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	東西線線路使用料の削減率	16.7%	16.7%	100%	

39. 地下鉄事業の長期収支改善

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
	未達成	達成	
	活動量		

活動量の地下鉄事業経営健全化計画に基づく一般会計出資額は、目標を達成している。成果の経常損益における収支率も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

40. 東西線線路使用料の見直し

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
	未達成	達成	
	活動量		

活動量の東西線(御陵～三条京阪)線路使用料の削減額は、目標を達成している。成果の線路使用料の削減率も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考察】

- 本取組は、膨大な不良債務を抱える地下鉄事業の健全化を推進していくための中心的な取組であり、交通局全体の経営健全化にも大いに貢献するものである。

【今後の方向性】

- 地下鉄事業経営健全化計画で定めている、地下鉄事業の健全化、一般会計からの出資金の確保及び地下鉄運賃改定の計画的な実施などを着実に推進し、地下鉄事業の長期収支の改善を図っていく。

19 職員研修の充実

…職員に対し研修と目標設定等を行うことで意識改革を図り、経営感覚に優れ、お客様ニーズに対応できるような交通局職員及び管理職員を育成する。

(1) 職員研修の充実

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
41. 全員研修の実施	所属研修の実施回数	90回	90回	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	所属研修の受講率	全対象者(2,080人)への実施(受講率100%)	2,059人	99%	
	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
42. 実務研修の充実(バス)	市バス運転士セミナー, 事故防止研修の実施回数	64回	64回	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	優秀職員モニター制度における接遇状況「優」の占める割合	8.5%	16%	188%	
	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
43. 実務研修の充実(地下鉄)	地下鉄定期教育訓練の実施回数	106回	106回	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	優秀職員モニター制度における接遇状況「優」の占める割合	2.6%	20.7%	796%	
	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
44. 基本研修等の充実	基本研修の実施回数	7回	7回	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	対象職員の受講率	全対象者(55人)への実施(受講率100%)	53人	96%	
	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
45. 能力開発研修の拡充と自主研修の支援	能力開発研修及び自主研修の講座設定数	22講座	22講座	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	能力開発研修及び自主研修の講座受講率	22講座	16講座	73%	
	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	

(2)「目標管理制度」の実施						
46.「目標管理制度」の実施	活動量指標		活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	指定職員に対する「目標管理制度」の導入率		全ての指定職への導入(100%)	100%	100%	普通
	成果指標		成果目標	成果実績値	成果達成度	
	適正な評価の実施		5段階での分布基準の達成	5段階のうち4段階の達成	80%	

4 1. 全員研修の実施

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の所属研修の実施回数は、目標を達成している。しかし、成果の所属研修の受講率は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

4 2. 実務研修の充実（バス）

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の市バス運転士セミナー、事故防止研修の実施回数は、目標を達成している。成果の優秀職員モニター制度における接遇状況「優」の占める割合も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

4 3. 実務研修の充実（地下鉄）

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の地下鉄定期教育訓練の実施回数は、目標を達成している。成果の優秀職員モニター制度における接遇状況「優」の占める割合も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

4 4. 基本研修等の充実

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の基本研修の実施回数は、目標を達成している。しかし、成果の対象職員の受講率は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

4 5. 能力開発研修の拡充と自主研修の支援

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の能力開発研修及び自主研修の講座設定数は、目標を達成している。その成果である講座受講率は目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

46. 「目標管理制度」の実施

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の指定職員に対する「目標管理制度」の導入率は、目標を達成している。成果の適正な評価の実施については、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

【考 察】

- 職員研修や「目標管理制度」の充実を図ることは、職員の意識改革につながり、お客様サービスの向上に直結するものである。
- 研修による効果の発現は必ずしも短期間で評価できるものではなく、中長期的に見守っていくことも必要である。
- 能力開発研修については、義務的なものではなく、職員の自主性を尊重していくことが重要であるため、目標設定に馴染みにくいものであり、成果目標の設定や水準などの見直しも検討する必要がある。
- 実務研修における接遇状況調査については、主に接遇の不良な運転士に対し指導・研修を行うことを目的としていた「モラル調査制度」を改め、平成16年度からは、接遇が優秀な運転士を表彰する一方、接遇が不良な運転士については厳しい指導を行い、問題がある運転士については処分の対象とするなど、信賞必罰の強化を図った「優秀職員モニター制度」を実施している。
- 「目標管理制度」については、平成16年度に全指定職員への導入を実施することが出来たものの、評価実施の際に、相対評価における分布基準に基づく割合（S評価0～5％、A評価10～30％、B評価30～80％、C評価10～30％、D評価0～5％）について、5段階の区分のうち4段階について達成したことから80％の達成度となり、目標に達することが出来なかった。

【今後の方向性】

- 引き続き、安全運転やマナー研修等の研修には全員の受講を目指す一方、能力開発研修や自主研修については、職員がどのような研修を望んでいるかニーズの把握に努める必要がある。
- 「目標管理制度」については、これまでの実績を踏まえ、評価システムをはじめ、より実効性が高まるよう制度の検討を行っていく。

20 情報公開と市民理解の推進

…「京都市交通事業アクションプログラム」を策定・実施し、その進捗よく状況を市民に公開するとともに、交通局所管の事務事業を再点検し、効率化を図る。

47.「京都市交通事業アクションプログラム」の策定及び進行管理	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	アクションプログラム対象事業の実施	27事業実施	27事業実施	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	政策推進方針の達成度	100%	100%	100%	
48.「京都市交通事業事務事業評価」の実施	評価対象外事業				

47.「京都市交通事業アクションプログラム」の策定及び進行管理

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量のアクションプログラム対象事業の実施は、すべての事業を実施しており目標を達成している。成果の政策推進方針の達成度も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- 平成16年度は「アクションプログラム」策定から2年目にあたるが、策定当初（平成15年度）から「アクションプログラム」本体やその実施状況を交通局ホームページ上に掲載していることに加え、平成16年度からは、局の重点施策をとりまとめた「政策推進方針」も掲載するなど、交通事業についての市民への情報公開と市民理解を推進している。

【今後の方向性】

- 「アクションプログラム」については、計画期間である平成20年度まで着実に推進し、間断なき交通事業改革に積極的に取り組んでいく。

21 市民とのパートナーシップの推進

…市民やお客様とのパートナーシップを増進し、利用者の増加を図る。

49. 市民モニター制度の実施	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	市民モニター制度の実施	モニター提案の周知	周知実施	100%	良い
成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度		
モニター提案の反映状況の集約	反映状況の把握	調査実施	100%		
50. 「お客様総合相談窓口」(仮称)の開設	評価対象外のため、今年度は評価なし。				
51. 「お客様満足度調査」の実施	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	「お客様満足度調査」の実施結果の作成及び周知	調査結果の周知	調査報告書配付	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	本市交通事業全般に対する「お客様の声」による苦情件数	苦情件数10%減少	98件→67件(31.6%減少)	316%	
52. 関係NPO組織との懇談	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	関係NPO組織との懇談の実施	懇談の実施(1回)	2回	200%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	関係部署への周知	関係部署への周知	2回	200%	

49. 市民モニター制度の実施

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
	未達成	達成	
	活動量		

活動量は市民モニターの提案が周知され、目標を達成している。成果のモニター提案の反映状況の調査についても、目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

50. 「お客様総合相談窓口」(仮称)の開設

検討段階であるため、平成16年度評価は実施していない。

「市政情報総合案内コールセンター」に案内業務を一元化することにより、平成17年度をもって本取組の検討は終了する見込みである。

5 1. 「お客様満足度調査」の実施

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量は、報告書の配付がなされ調査結果が周知されていることから、目標を達成している。成果の本市交通事業全般に対する「お客様の声」による苦情件数も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

5 2. 関係NPO組織との懇談

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の関係NPO組織との懇談の実施については、目標を達成している。成果の関係部署への周知も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- いずれも市民とのパートナーシップを密にする取組であり、市民ニーズに応えた双方向的なサービスを提供する上で、非常に重要な取組である。

【今後の方向性】

- 「市民モニター制度」は平成16年度中に各項目の反映状況を調査・集約し、その目標を達成することができたことから、取組を平成16年度で終了する。
- お客様満足度調査は、平成16年度中に苦情件数を約32%減少させることができ、その目的を達成することができたことから、取組を平成16年度で終了する。
- 平成17年3月から、ホームページ上での「お客様の声（ご意見・ご要望）」の募集を開始したことでお客様からのご意見や苦情に迅速に対応できる体制が整備され、「お客様の声」の件数の増加が予想されるが、「お客様満足度調査」の結果も踏まえて事業を行うなど、今後とも「お客様の声」の苦情件数減少に努める。
- 関係NPO組織との懇談については、効果的な懇談のあり方を検討する。

22 TDM施策の推進

…自動車交通を抑制、分散化させ、公共交通へと転換し、すべての人が安全かつ快適に歩き、移動できる「歩くまち・京都」の実現に寄与する。

	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
53. 「嵐山交通対策研究会」における取組への参加	「嵐山交通対策研究会」会議への出席率	100%	100%(3回)	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	「嵐山観光地交通対策」期間中に嵐山を運行する系統の延着時分	1.5分	1.7分	88%	
54. 「「歩くまち・京都」交通まちづくりプラン」に基づく取組との連携	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	「「歩くまち・京都」交通まちづくりプラン」に掲げる交通局取組項目の実施	10項目	10項目実施	100%	
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	市バス・地下鉄の旅客数(一日あたり)	631,460人/日(15年度実績値)	625,819人/日	99%	

53. 「嵐山交通対策研究会」における取組への参加

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の「嵐山交通対策研究会」会議への出席率は、目標を達成している。しかし、成果の「嵐山観光地交通対策」期間中に嵐山を運行する系統の延着時分は、目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

54. 「「歩くまち・京都」交通まちづくりプラン」に基づく取組との連携

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の「「歩くまち・京都」交通まちづくりプラン」に掲げる交通局取組項目の実施については、目標を達成している。しかし、成果の市バス・地下鉄の旅客数(一日あたり)は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

【考察】

- 両取組とも、京都市基本計画に位置づけられている「歩くまち・京都」の実現につながるものである。
- 地域や商店街の方を中心として組織された会議体である「嵐山交通対策研究会」の取組と連携することは、観光シーズンの嵐山地域における走行環境改善につながり、ひいては市バスの延着時分の削減につながるものである。
- 両取組の成果については、本取組だけではなく、京都市の観光施策と交通局の他の利用促進策などが相まって得られたものであることに留意する必要がある。

【今後の方向性】

- 少子長寿化の進展や移動手段の多様化などの影響により，市バス・地下鉄事業を取り巻く環境の悪化が進んでいるが，引き続き「歩くまち・京都」の実現に向け，交通局として積極的に取組を推進していく。

23 公共交通の社会基盤整備

…市の各種公共事業等と連携し、公共交通を利用しやすい環境の整備に努める。

55. 道路整備・各種都市計画事業との連携	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	道路整備や都市計画事業の計画部門へ調査の実施	調査実施	調査実施	100%	良い
成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度		
対象事業の計画部門との協議率	協議率100%	(対象事業なし)	—		
56. 公共施設等の整備との連携	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	公共施設等の設計・管理部門へ調査の実施	調査実施	調査実施	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	対象施設の設計・管理部門との協議率	協議率100%	(対象事業なし)	—	

55. 道路整備・各種都市計画事業との連携

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の道路整備や都市計画事業の計画部門へ調査の実施については、目標を達成している。成果の対象事業の計画部門との協議は、対象事業がなかったことから、総合評価は活動量指標のみで判断し、暫定的に「良い」とする。

56. 公共施設等の整備との連携

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の公共施設等の設計・管理部門へ調査の実施については、目標を達成している。成果の対象施設の設計・管理部門との協議は、対象事業がなかったことから、総合評価は活動量指標のみで判断し、暫定的に「良い」とする。

【考 察】

- 公共交通の利便性向上のため、転回場など市バスをより利用しやすくするための施設や、公共施設型バスロケーションシステムなど情報提供機器の設置が可能な新規の公共施設整備事業を調査した結果、今年度は機器の設置が可能となる対象事業がなかったことから、評価は暫定的に行った。

【今後の方向性】

- 今後とも、市バスへの潜在需要を掘り起こすために断続的に調査を行い、より効果的な対象事業を見極めていく。

24 バリアフリー化の推進

…どなたにでもご利用いただける市バス・地下鉄を目指し、市バス・地下鉄の車両及び施設等のバリアフリー化を図る。

(1) 市バスのバリアフリー化

57. ノンステップバスの導入	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	ノンステップバス導入車両数	69両	69両	100%	良い
成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度		
ノンステップバスの導入率	34.4% (258/750台)	34.4%	100%		
58. 停留所施設の改善	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	建設局との協議の実施	協議実施	協議実施	100%	普通
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
ノンステップバスに対応した改善がされた停留所の合計箇所数	15箇所	14箇所	93%		
(2) 地下鉄のバリアフリー化					
59. 地下鉄のバリアフリー化	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	視覚障害者誘導ブロックの設置駅数	4駅 (全駅完了)	4駅設置	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	視覚障害者誘導ブロックの設置率	100%	100%	100%	

57. ノンステップバスの導入

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量のノンステップバスの導入車両数は、目標を達成している。成果のノンステップバスの導入率も目標を達していることから、総合評価は「良い」とする。

58. 停留所施設の改善

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の建設局との協議の実施は、目標を達成している。しかし、成果のノンステップバスに対応した改善がされた停留所の合計箇所数は、わずかながら目標に達しなかったことから、総合評価は「普通」とする。

59. 地下鉄のバリアフリー化

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の視覚障害者誘導ブロックの設置駅数は、目標を達成している。成果の視覚障害者誘導ブロックの設置率も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考察】

- ノンステップバスは累計で258両（全750両中）、停留所施設の改善は累計で1,261箇所（全1,521箇所中）となっている。
- 市バス・地下鉄をすべてのお客様にご利用いただきやすい施設へと改良することはバリアフリー化に寄与することであり、ひいてはユニバーサルデザインの実現やお客様の安全性向上につながるものである。

【今後の方向性】

- 市バスのバリアフリー化の推進のため、継続してノンステップバスの導入を拡大するとともに、導入にあわせた停留所施設の改善を行う。
- 地下鉄の視覚障害者誘導ブロックの増設などは完了したが、引き続き、地下鉄四条駅と阪急烏丸駅の連絡通路への階段昇降機の設置や多目的トイレへの改修など、さらなるバリアフリー化の実現を図る。

25 市バス車両の低公害化

…バス車両及び燃料の低公害化を図り、大気汚染や地球温暖化等を抑制し、地球環境の保全に努める。また、新技術の導入による低公害型の車両及び代替燃料の普及を促進する。

60. 低公害車・低燃費車の導入	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	低公害車の導入車両数	3両 (天然ガスバス)	3両	3両	100%
活動量指標2	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度		
低燃費車の導入車両数	66両(アイドリング・ストップバス)	66両	100%		
成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度		
低公害車・低燃費車導入によるCO ₂ 削減量	364.5t削減	364.5t削減	100%		
61. 黒煙等減少装置の導入	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	黒煙等減少装置の装着車両数	7両(DPF)	7両	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	排気ガス中に含まれる粒子状物質(PM)の濃度	0.742%低減	0.742%低減	100%	
62. 低公害燃料の使用	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	バイオディーゼル燃料の混合率	20%	20%	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	バイオディーゼル燃料の使用による軽油削減量	20万ℓ	20万ℓ	100%	

60. 低公害車・低燃費車の導入

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の低公害車の導入車両数、低燃費車の導入車両数とも、目標を達成している。成果の低公害車・低燃費車導入によるCO₂削減量も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

61. 黒煙等減少装置の導入

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の黒煙等減少装置の装着車両数は、目標を達成している。成果の排気ガス中に含まれる粒子状物質(PM)の濃度も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

6.2. 低公害燃料の使用

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量のバイオディーゼル燃料の混合率は、目標を達成している。成果のバイオディーゼル燃料の使用による軽油削減量も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考察】

- 低公害車（天然ガスバス）は累計で30両（全750両中）、低燃費車は累計で278両（全750両中）、黒煙等減少装置（DPF）設置車両は累計で28両（全750両中）となっている。
- 市バス車両をより環境負荷の低いものへ改善することは、市バス車両の低公害化に寄与することであり、世界規模で問題となっている地球温暖化の防止につながると同時に、環境保全意識の高まりにもつながっていくものである。

【今後の方向性】

- 今後も計画どおりの取組を実施するとともに、更に高い効果を期待できるシステムが普及した際には、新たに取り入れていくことが必要である。

26 地下鉄の安全対策

…火災等の災害発生時における地下鉄駅施設や車両の安全性を確保し、お客様の安全性向上につなげる。

63. 「京都市高速鉄道防火安全対策委員会」の設置	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	駅施設及び車両等に関する安全輸送の確立に向けた取組の実施	1回	1回	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
火災によるお客様への被害件数	0件	0件	100%		
64. 車両間転落防止装置の設置（烏丸線）	活動量指標	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合評価
	車両間転落防止装置の設置編成数	4編成	4編成	100%	良い
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
烏丸線車両全編成(20編成)に対する設置率	90%	90%	100%		

63. 「京都市高速鉄道防火安全対策委員会」の設置

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の駅施設及び車両等に関する安全輸送の確立に向けた取組の実施については、目標を達成している。成果の火災によるお客様への被害件数も1件も起こることなく目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

64. 車両間転落防止装置の設置（烏丸線）

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の車両間転落防止装置の設置編成数は、目標を達成している。成果の烏丸線車両全編成（20編成）に対する設置率も目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

【考 察】

- 地下鉄をより安全な施設へと改良することはお客様の安全性向上につながるとともに、安心感からさらなる利用拡大へつながることが期待される。

【今後の方向性】

- 両取組とも高い成果が得られていることから、継続して取組を進めていく。
- また、設置した装置の適正な保守管理により機能維持に努め、安全性の確保を図っていく。
- 車両間転落防止装置の設置は、平成17年度に2編成に設置して完了する。

27 地下鉄東西線の延伸

…地下鉄東西線を延伸し、周辺地域と市内中心部間の交通利便性の向上を図る。

65. 地下鉄東西線 (六地藏～醍醐間)の延伸	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	総合 評価
	土木工事の進捗よ率	100%	100%	100%	
	活動量指標2	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
	軌道工事の進捗よ率	(完了済)	—	—	
	活動量指標3	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
	建築工事の進捗よ率	100%	100%	100%	
	活動量指標4	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
	駅設備工事の進捗よ率	100%	100%	100%	
	活動量指標5	活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
	電力設備工事の進捗よ率	100%	100%	100%	
	成果指標	成果目標	成果実績値	成果達成度	
	東西線(六地藏～醍醐間)の予定どおりの開通	平成16年11月26日の開通	100%	100%	
	66. 地下鉄東西線 (二条～天神川間)の延伸	活動量指標1	活動量目標	活動量実績値	
土木工事の進捗よ率		30%	56%	187%	
活動量指標2		活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
軌道工事の進捗よ率		—	—	—	
活動量指標3		活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
建築工事の進捗よ率		—	—	—	
活動量指標4		活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
駅設備工事の進捗よ率		—	—	—	
活動量指標5		活動量目標	活動量実績値	活動量達成度	
電力設備工事の進捗よ率		—	—	—	
成果指標		成果目標	成果実績値	成果達成度	
東西線(二条～天神川間)の予定どおりの開通		—	—	—	

65. 地下鉄東西線（六地蔵～醍醐間）の延伸

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量の各種工事の進捗率は、目標を達成している。成果については、東西線（六地蔵～醍醐間）を予定どおり平成16年11月26日に開通させ、目標を達成していることから、総合評価は「良い」とする。

66. 地下鉄東西線（二条～天神川間）の延伸

成果	達成	普通	良い
	未達成	悪い	普通
		未達成	達成
		活動量	

活動量のうち土木工事の進捗率は、目標を達成している。成果については、東西線（二条～天神川間）を平成19年度中に開通させる予定としており、まだ評価を出せない段階であるため、総合評価は暫定的に「良い」とする。

【考察】

- 六地蔵～醍醐間については工事が完了し、予定どおり平成16年11月26日に開通することができた。また、建設費についても、工法の変更や工事の簡素化など徹底したコスト削減に努めた結果、当初の事業費712億円を最終的には556億円の総建設費とし、156億円の削減を達成している。
- 二条～天神川間については、延伸工事が完了し、平成19年度に開通した時点で初めて評価が明らかになるため、それまでは暫定評価を行うこととする。
- 本取組は、都市における重要な大量輸送機関である地下鉄を、より多くの市民の皆様にご利用いただけるようにするものであり、お客様の利便性向上及び利用者数の増加につながるものである。

【今後の方向性】

- 平成19年度中に開通予定の二条～天神川間については、工程の適切な管理と建設費の削減、工事の安全管理の徹底に取り組み、早期の開通を目指して建設工事を進めていく。